

令和5年度 果樹の生育情報 No.1

令和5年5月1日

農業経営課

1 気象概況

1～4月の平均気温は高く、とくに3月は記録的な高温でした。

	<3月の平均気温>	<4月の平均気温>
岐阜市アメダス	12.5℃ (平年比+3.5℃)	15.7℃ (平年比+1.2℃)
恵那市アメダス	9.7℃ (平年比+3.5℃)	13.1℃ (平年比+1.2℃)
高山市アメダス	7.3℃ (平年比+3.9℃)	11.0℃ (平年比+1.3℃)

2 生育概況

各樹種の生育は表1のとおりです。前年、平年と比較してもかなり早く進んでいます。

表1－果樹樹種の生育相 (令和5年5月1日時点)

樹種	品種	年度	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	開花終期	平年比較
カキ	早秋	本年	3/8	3/23				展葉期 10日早い
		前年	3/7	4/2	5/11	5/12	5/17	
		平年	3/9	4/2	5/15	5/16	5/19	
	太秋	本年	3/11	3/27				展葉期 9日早い
		前年	3/13	4/6	5/11	5/12	5/14	
		平年	3/15	4/5	5/15	5/16	5/19	
	富有	本年	3/10	3/26				展葉期 10日早い
		前年	3/14	4/6	5/13	5/15	5/20	
		平年	3/14	4/5	5/17	5/18	5/22	
ナシ	幸水	本年	3/11	3/30	3/31	4/3		満開期 7日早い
		前年	3/17	4/8	4/9	4/11	4/15	
		平年	3/13	4/8	4/6	4/10	4/16	
	あきづき	本年	3/10	3/28	3/31	4/3		満開期 5日早い
		前年	3/15	4/7	4/7	4/10	-	
		平年	3/13	4/7	4/6	4/8	4/15	
クリ	丹沢	本年	3/21	4/24				展葉期 前年並み
		前年	3/30	4/24	-	6/14	-	
		平年	-	-	-	-	-	
	筑波	本年	3/19	4/23				展葉期 前年より1日早い
		前年	3/30	4/24	-	6/10	-	
		平年	-	-	-	-	-	
モモ	白鳳	本年	3/18	4/17	4/13	4/17	4/27	満開期 10日早い
		前年	3/22	4/23	4/21	4/23	4/27	
		平年	3/23	4/27	4/25	4/27	5/3	
	川中島白桃	本年	3/20	4/17	4/13	4/19	4/29	満開期 10日早い
		前年	3/24	4/25	4/21	4/24	4/29	
		平年	3/23	4/28	4/26	4/29	5/6	
リンゴ	つがる	本年	3/24	4/3	4/20	4/24		満開期 10日早い
		前年	4/1	4/12	4/26	4/28	5/9	
		平年	4/1	4/16	5/1	5/4	5/11	
	ふじ	本年	3/24	4/1	4/20	4/24		満開期 11日早い
		前年	4/1	4/11	4/26	4/28	5/9	
		平年	4/2	4/15	5/1	5/5	5/11	

※カキ、ナシ：農業技術センター（岐阜市）、モモ、リンゴ：中山間農業研究所本所（飛騨市）、

クリ：中山間農業研究所中津川支所（中津川市）、平年値は過去10年（2013～2022）、クリのみ平年値データは無し

3 栽培上の留意点

(1) 晩霜対策

本年は気温が高く推移し、果樹の生育ステージが進んでいるため晩霜害リスクが高まっています。5月中旬までは、晩霜が発生しやすい気候が続きます。晩霜が予想される場合の事前対策、被害が発生した場合の事後対策の徹底をお願いします。

○事前対策（耕種的対策）

- ・防風ネットや防風林がある場合はネットを巻き上げたり、下枝を払う。
- ・土壌が乾燥している場合は散水する。
- ・草生栽培の場合は短く刈り込む。敷き藁やマルチを敷いている場合は取り除き、5月中旬以降に設置する。

○事後対策

- ・被害程度を確認後、枯死した部分は切除する。
- ・人工受粉を徹底し、結実確保を図る。
- ・結実量が減少する場合は、果形の悪い果実やサビ果なども残し、結実量の確保に努める。
- ・結実量が少なくなると、樹勢が旺盛になる。摘芯、新梢誘引、部分的に多く着果させる、追肥量を減らすなどで樹勢管理を行う。

(2) 着果管理

カキでは開花前の摘蕾、ナシ、モモ、リンゴは予備～仕上げ摘果の時期となります。昨年の豊作の影響や4月の低温の影響で、着果量が少なかったり、形が悪いものが残る可能性があります。着果量が少ない場合は果形が悪いものも残すなど着果量の確保に努めましょう。作業が遅れないよう適期作業に努めましょう。

(3) 病虫害防除

県病虫害防除所の調査によると、カキではフジコナカイガラムシ、ナシでは黒星病、赤星病の発生が早いと予測されています。気温が高く、生育ステージも早いことから、病虫害の発生時期がいつもとずれることも想定されます。地域の発生情報に留意しながら、防除時期が遅れないよう適期防除に努めましょう。



写真1 カキの着蕾状況

5月中旬頃、開花を迎えます。それまでに摘蕾を終えましょう。



写真2 ナシの黒星病

ナシでは、黒星病の発生がすでに見られます。感染部位の切除、防除の徹底に努めましょう。